

講義コード [9-1]		開講区分	1 学年	前	後
森 林 ・ 林 業 の 基 礎 (林 大 入 門)		コマ数	講義(座学・実習)19コマ	実習 0コマ	
		講師	高崎則禎、柴田繁、内田恵、高屋一人司、衣川和幸、芦田暢、足立亘、田中朝日		
目的	講義、実習の出発点として、森林・林業、木材の、森林生態学の基本事項を学ぶ。				
概要	各講義や実習の始まる前に開講する林業入門の講義です。林業用語や、例えば「2cm括約」といった林業に共通する考え方など、本格的な講義・実習の前に知っておく基礎事項をわかりやすく教えます。				
講義	テーマ	講義内容			
ガイダンス	「山」型林業人を目指せ	林業大学校の教育方針、教育計画を示す。 「山」型林業人、山の仕事は人間関係、人生より長い「林業」			
ガイダンス	森と林業を大整理	森林の所有形態別、樹種別、地形別、森林の機能別、林産物・特用林産物の違い等々、頭の中に「整理棚」を組み立て、森林の理解を助けます。			
1, 2	現地見学	林大周辺の森林を歩く(人工林、天然林)。			
3	人工林施業・天然林施業	植栽から皆伐までの人工林施業や自然の力を大きく借りた天然生林施業を学ぶ。			
4	森林の機能	3つの重要公益機能、公益的機能、二酸化炭素吸収、物質生産機能 水源涵養機能発揮のメカニズム			
5	森のルールや掟	森林法、森林所有者、権原、所有権、境界、地上権、地役権、陰伐地、山の神様			
6	収穫技術と林業機械	チェンソー、刈払機、索道、バックホー、グラブブル、プロセッサ、ハーベスタ、フォワーダ、タワーヤード等の林業機械の紹介			
7	林業作業の安全	森林作業の特質、山仕事を始める前の注意事項、安全な行動、その他の危険			
8	道具の取扱い	山仕事の服装や道具の使い方等を学ぶ。			
9	木材を測る	検尺と材積算定、末口と元口、表と裏、林齢計測			
10	森林土木事業の概要	治山事業・林道事業の役割			
11	木材(1)	①主な木材の用途と姿 ②建物の部材と適材適所			
12	木材(2)	①山から出材した木の流れを追う ②製材の基礎と製材工場の流れ(座学)			
13~16	ICT等林業機械展	林業等で使う様々な最新林業機械を見学			
評価方法	評価なし。出席が重要。				
テキスト	林大入門テキスト(京林大オリジナル)				
参考書					
備考					

講義コード [9-2]		開講区分	1 学年 (前) ・ 後
情 報 処 理		コマ数	講義(座学・実習)9コマ 実習 0コマ
		講師	池中 伸幸、西田 三郎
目的	講義・実習の理解と課題レポートや卒業研究論文の作成に向けて、入力装置となる電子機器やアプリケーションソフトの基本操作を学ぶ。		
概要	パソコンやiPad及びWord,Excel,PowerPointの基本操作を学ぶとともに、森林・林業関係でよく使う算式や単位変換等について確認する。		
講義	テーマ	講義内容	
1	林業算術	林業でよく使う数値計算、数値処理の基礎力を確認する。	
2	パソコン操作の基本 Wordの基本操作	ノートパソコンの使用方法 Wordの使用法と主な機能を学ぶ	
3	Wordの基本操作	Wordの使用法と主な機能を学ぶ	
4	Wordを使う(演習)	Wordの使用法、主な機能を学ぶ	
5	Wordを使う(演習)	Wordの使用法、主な機能を学ぶ	
6	Excelの基本操作	Excelの使用法、主な機能を学ぶ	
7	Excelを使う(演習)	Excelの使用法、主な機能を学ぶ	
8	PowerPointを使う	Powerpointの使用法、主な機能を学ぶ	
9	PowerPointを使う	Powerpointの使用法、主な機能を学ぶ	
10			
11			
12			
13			
14			
15			
評価方法	評価タイプD wordついて、簡単なテストを行う。		
テキスト	基本は体得と習熟ですが、必要な資料は配付します。		
参考書			
備考	講義8・9は、WI-FI環境の整備後に実施する。		

講義コード [9-3]		開講区分	1 学年 前 後
救 急 救 命		コマ数	講義(座学) 3コマ 実習 12コマ
		講師	日本赤十字社京都府支部
目的	現場において、また普段の生活において不慮の事故や急病の人に遭った場合の救急隊が到着するまでの正しい救命連鎖の方法を学ぶことにより、安全意識の高揚と社会への貢献を図る		
概要	日本赤十字社の救急法基礎講習及び救急法講習により赤十字救急法救急員を養成する		
講義	テーマ	講義内容	
1	救急法基礎講習	赤十字救急法について、手当の基本	
2		観察(意識ありの観察)・保温、心肺蘇生	
3		AEDの使用法、気道異物除去、基礎講習学科検定、検定の採点・解説	
4	救急員養成講習	三角巾の基本、三角巾の包帯(額、耳、頭)	
5		ショートホームルーム及び休憩時間の廃止、昼休みの時間短縮により1日で5コマ分の講習時間を確保する	
6	救急員養成講習	赤十字救急法救急員について、急病への対応、けがへの対応	
7		きずの手当、三角巾の包帯(胸・肩・手)	
8		三角巾の包帯(前腕・下腿・膝・腕の吊り方・収納方法)、止血法	
9		固定法、搬送法、救護、副子を用いない固定、検定要領の説明	
10		ショートホームルーム及び休憩時間の廃止、昼休みの時間短縮により1日で5コマ分の講習時間を確保する	
11	救急員養成講習	副子固定	
12		搬送法	
13		総合演習、検定準備、実技検定(止血法・包帯法・固定法)	
14		学科検定準備・学科検定・総括	
15		ショートホームルーム及び休憩時間の廃止、昼休みの時間短縮により1日で5コマ分の講習時間を確保する	
評価方法	評価タイプ:C		
テキスト	赤十字救急法基礎講習教本、赤十字救急法講習教本		
参考書			
備考			